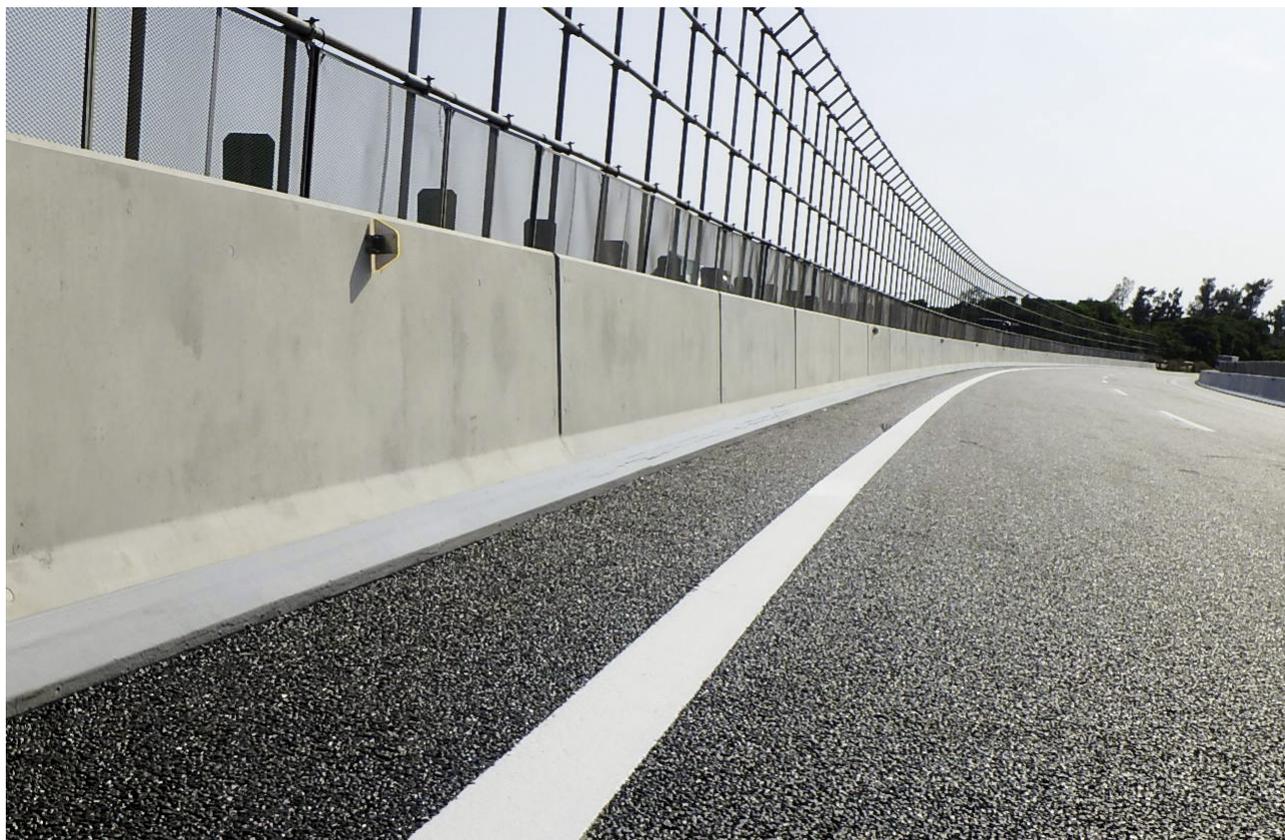


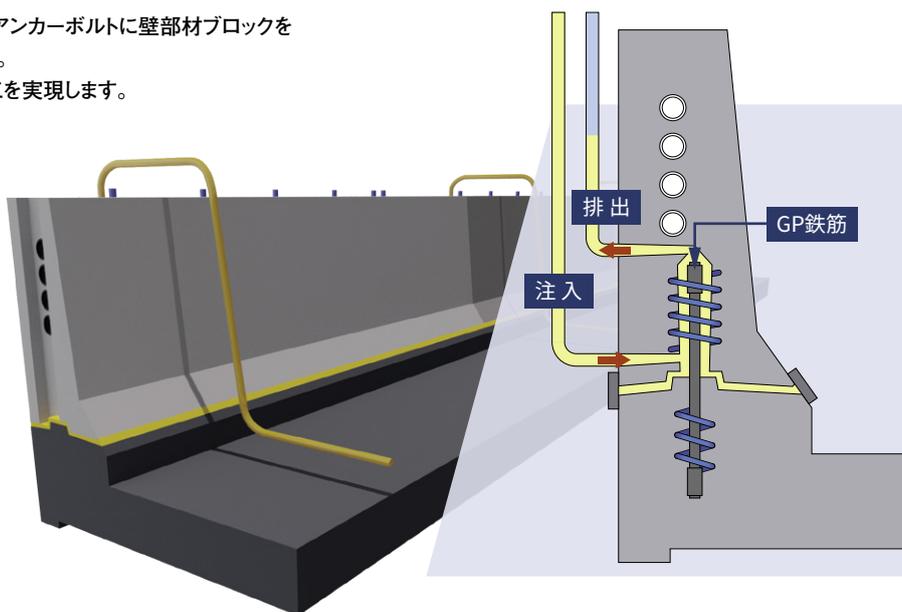
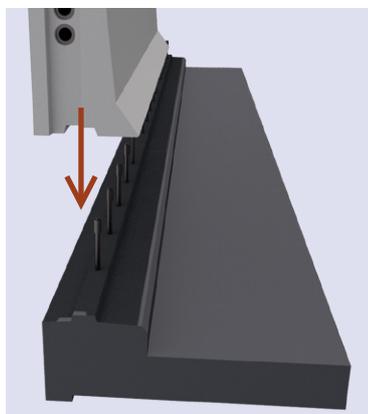
クイック壁高欄



特長

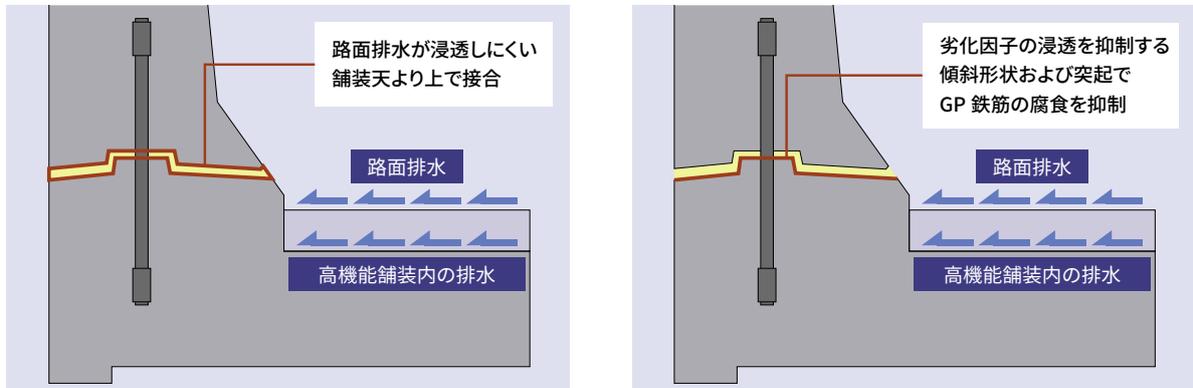
1 急速施工 急速施工のポイントは、GP 鉄筋とせん断キー[特徴4]

床版との接合は、床版から突き出したアンカーボルトに壁部材ブロックを被せ、無収縮モルタルを充填して完了。
シンプルな接合構造によって急速施工を実現します。



2 耐久性 路面排水が浸入しにくい接合位置とこだわりの形状

床版との接合面を、路面排水が浸透しにくい高さに配置。凸凹形状と相まって劣化因子の浸入を抑制します。



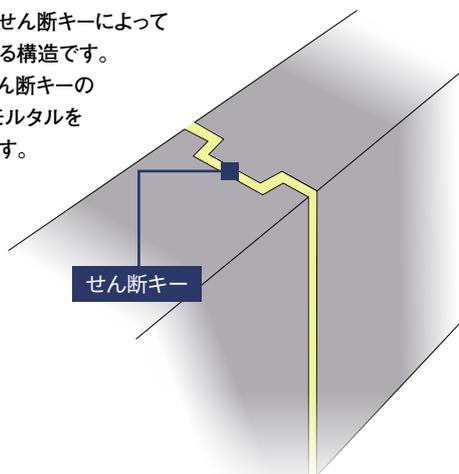
3 GP鉄筋 異形鉄筋の両端部に鋼管パイプを圧着。鉄筋の引張強さを保証

グリップを圧着した鉄筋にエポキシ樹脂塗装を施した高耐久なアンカーボルトを使用します。



4 せん断キー ブロック間目地はせん断キーのみ

壁部材同士は、せん断キーによって荷重が伝達される構造です。接合作業は、せん断キーの間隙に無収縮モルタルを充填して完了です。



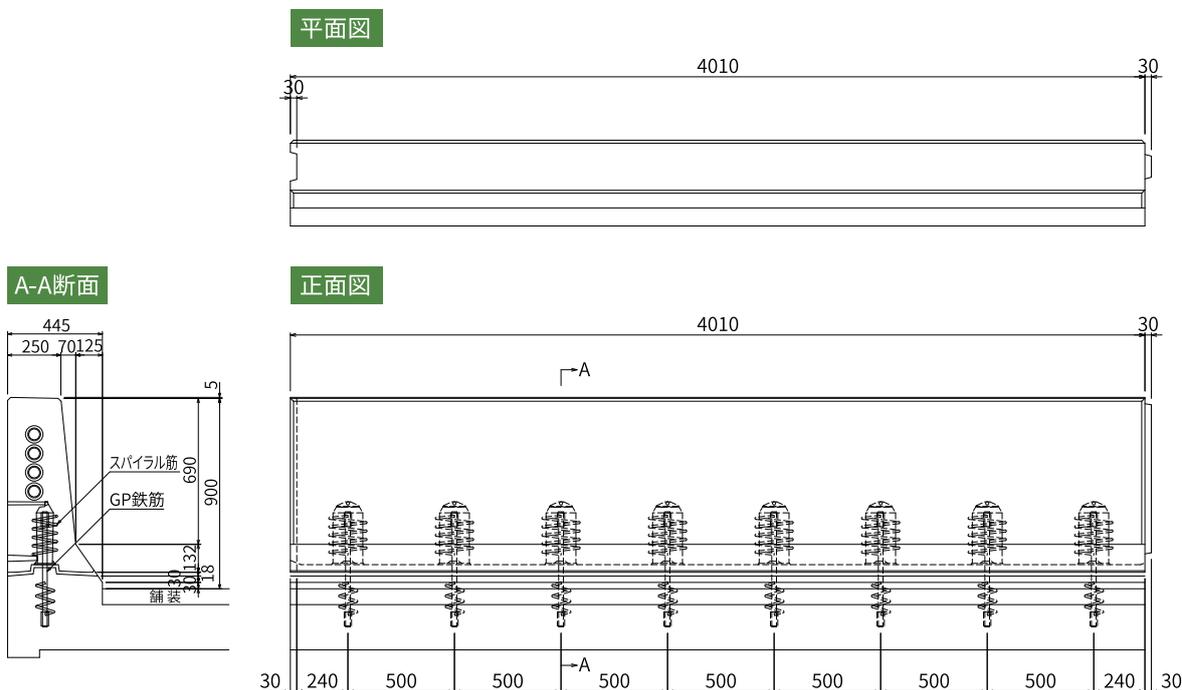
安全性

実車衝突試験による性能確認



『防護柵の設置基準』及び「NEXCO 構造物施工管理要領」の要求性能を満たしています。
NEXCO 総研に性能証明書を提出・受領済み

クイック壁高欄の形状寸法



※オプションで、通信管路 (VE54 最大 4 条)、遮音壁又は落下物防止柵アンカーボルト、剥落防止対策も対応可能です。
 ※端部ブロックは、GP 鉄筋を端部 1m の範囲に 4 本配置します。

クイック壁高欄の施工手順

① 準備工



■ 現地確認

施工に先立って、床版の施工状態、アンカーボルトの設置状態などを確認します。



■ ライナープレート設置

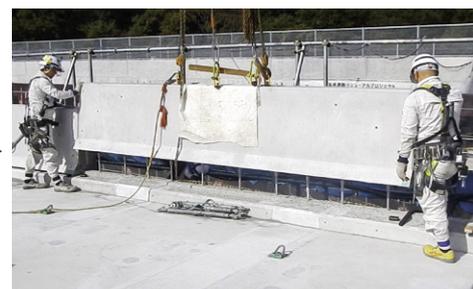
ライナープレートの必要厚さは、測量の上、事前に確認して下さい。

② 据付工



■ 搬入

クイック壁高欄は、寝かせた状態で運搬・搬入します。



■ 建て込みA

GP鉄筋の位置を確認しながら、アンカーボルト孔に当たらないように壁部材をゆっくり降ろしていきます。

取扱地域 北海道 東北 関東 中部 北陸 近畿 中国 四国 九州 沖縄

カルバート・
下水道

擁壁・
法面保護工

道路

高速道路

水路関連

河川・海洋・
環境

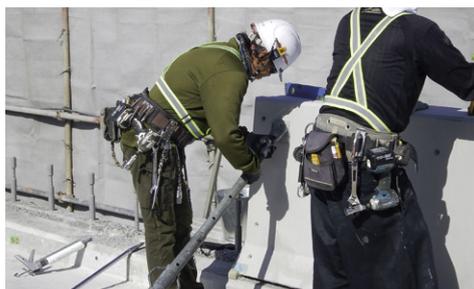
貯留・
防災システム

通信関連

建築・宅造

特殊工法・
新素材

参考資料



■ 建て込みB

吊り具は取り外さず、若干荷を掛けた状態で転倒防止のためのインクサポートなどを取り付け、背面鉛直度の調整などを行います。



■ 据付完了

③ 型枠工



■ 目地型枠の取付

エッセイバーH2 は非常に流動性が高いため、型枠の取付は隙間が生じないように慎重に行ってください。



■ 注入・排出ホースの取付

ホースは抜け落ちないように、接着剤やコーキング材を併用してしっかり固定してください。

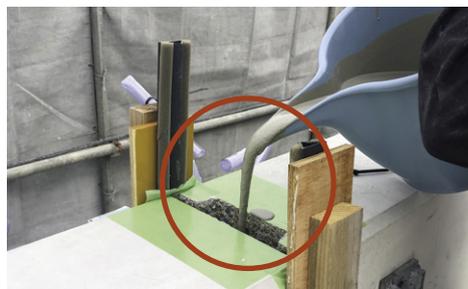
※写真は無収縮モルタルを充填完了した状態です。

④ 無収縮モルタル充填工



■ 充填作業A

すべての排出孔からの排出を確認します。排出が確認できたホースは速やかに折り曲げて閉じるようにして下さい。



■ 充填作業B

鉛直目地部の充填は目地天端部から行います。

⑤ 養生・脱型・仕上げ



■ 仕上げ

無収縮モルタルがコンクリート表面から突出している箇所等は、必要に応じて、研削砥石等で仕上げを行ってください。



■ 施工完了